伊豆天城山産2新蜘蛛の記載

植　村　利　夫

Two new spiders from Mt. Amagi, Izu Province.

By **Toshio Uyemura.**

東京文理科大學福井玉夫教授並びに高島春雄副手は一兩年來南豆陸棲動物相の究明に協心努力して居られるが，下田及天城に於て高島氏採集の眞正蜘蛛類は其の都度予が査定をお引受して來た。其の結果は中間報告として高島氏により或は予と共筆の形式で4回に亘り本誌上に發表されて居るのは各位御承知の通りである。其の後再査の末天城山産蜘蛛中に新種と認定すべきもの2種あるを見出したので，氏の慫慂に從ひ今回發表することにした。尙同山の蜘蛛で種名未知のものが他に數種あるが，其等は後日精査の上改めて發表する豫定である。今次の2新種は現在の所予の見た範圍では天城山特產（天城峠一八丁池一水生地一天城峠の地域）と看做すべきである。

Oedothorax quadrimaculatus sp. nov.

ヨツボシアカムネグモ（新稱）

模式標本 holotype は1937年6月15日靜岡縣天城山に於て高島春雄氏が採集した成體の♂で，allotype は同年7月19日同氏に依り同地で採集された成體の♀である。尙此の外に亞成體の♀♂各2頭の paratype 及亞成體の♀♂各1頭の topotype があり，何れも採集者及採集地は同じであるが，前者の採集日は同年5月6日で，後者の採集日は同年9月23日である。種名は何れの模式標本にも共通な腹背の4黑斑に因んで命名した。holotype は著者の標本 No. 681 に，allotype は同 No. 682 に，paratype は同 No. 683に，topotype は同 No.

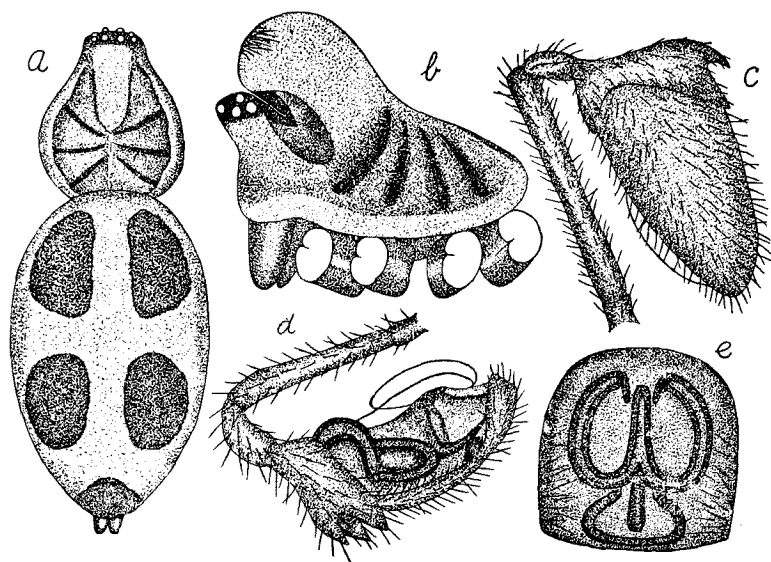
684 として保存する。

附圖說明 a.亞成♀ (paratype) の背面 b. 成♂ (holotype) の頭胸部側面 c. 同左觸肢の內側面 d. 同外側面 e. 成♀ (allotype) の胃外域 Plate IX. 成♂ (holotype) の背面

測　定 holotype (成♂) 及 allotype (成♀) の測定表を次に示す。單位は mm. である。

標　本	性	體　長	腹　部	步脚 I	步　II	步脚 III	步　IV	觸　肢
holotype	♂	3. 0	1. 8	4. 5	4. 2	3. 4	4. 2	1. 4
allotype	♀	3. 2	2. 0	4. 6	4. 3	3. 5	4. 3	1. 3

色　彩 成體の♂ (holotype) 一頭胸部：前方の隆起部は褐黃色で明るく他は灰黃色である。步脚は全部黃色で何等の斑紋を有しない。上顎は褐黃色で牙は褐色。下顎は灰褐色で下唇部は黑褐色，兩者の先端部は灰白色である。胸板は黑褐色で周緣部は黑味が强い。腹部：背面は灰黃綠色で，2對の大形な長楕圓形に近い黑色斑紋があり，後端にも稍三角形をなして同樣な斑紋がある。下面は灰黃色で中央より前方には1對の縱の黑色斑紋があり，其の上部は胃外溝の下部を取卷く半圓形の同樣な斑紋と交つて居る。後者の上緣に接する部分は細い白色の線をなして居る。蛛疣の周圍は黑色斑に取卷かれ，特に左右には稍大形な同色の斑紋1個づゝを有する。

成體の♀ (allotype) 一頭胸部：背甲の地色は淡黃灰色で，亞周緣部と頭部の隆起部を除いた部分は淡黑色に彩られて居る。眼は中性，眼域は黑色である。觸肢及步脚は淡黃色で，先端部2節は稍褐色を帶びてゐる。胸板は黑褐色，上顎は黃褐色，下顎は灰黃色，下唇部は更にそれらの何れよりも黑味强く，後二者の先端部は灰白色である。腹部：背面は holotype と殆ど同樣であるが，後

第1圖　ヨツボシアカムネグモ　*Oedothorax quadrimaculatus* sp. nov.
(Toshio Uyemura del.)

對の2黑斑は內方に於て鋸齒狀の切れこみ多く，叉後端部の斑紋と殆ど接續して居る。下面に於ては縱の斑紋が稍濃色であるが，他は色彩がうすい。

亞成體の♀ (paratype) ―頭胸部：背甲の周緣部は allotype の如く淡黑色に彩られて居ない。叉步脚の色彩も淡く，胸板及步脚は殆ど灰白色である。腹部背面は明るい淡黃色で，4個の斑紋は何れも楕圓形，明瞭である。下面は一樣に黃白色で，中央部に長楕圓形の黑色斑紋が1對明らかに存在するのみで，他の全ての斑紋を缺いて居る。

亞成體の♂ (paratype)：亞成體の♀と殆ど同樣であるが，腹部背面には4個の黑斑の他に後端部の斑紋が殆ど認められない。叉1頭は腹部下面の斑紋も全然見えない。觸肢は灰白色である。

形　狀　成體の♂ (holotype) ―頭胸部：背甲の中央には縱の中窩があり，

それより前方は瘤狀の大なる隆起をなして居る。隆起部の兩側面は凹所を形づくり，其の前方は切れ込んでゐる。眼は全部切れ込みの部分より下に位置し，側面より見る時は3間眼は相接近して略三角形に並び，直眼は稍離れて前方に位置して居る。放射溝はあるが明瞭でない。胸板は三角形に近く，長さは幅に優り，前緣は殆ど直線をなして居る。下唇部は舌形，各歩脚は膝節の先端部に1本，脛節の背面に2本の稍長い毛を持つて居る。蛛疣：2節よりなり，第1節は長く第2節は極めて短い。前疣は相接近し，後疣は稍離れて居る。

成體の♀ (allotype)：頭部は♂の如く大なる瘤狀の隆起をなして居ない。又隆起部側面の凹所及切れこみがない。眼は2列に並び，上部より見る時は前列は著しく後列は稍前曲する。直眼は最小で後列中眼は最大，側眼は相似てゐる中眼域は梯形で，上底（直眼間）は下底よりはるかに短く，直眼の距りは其の約1直徑である。第1間眼より他の2眼への距離は略相等しく，第2第3間眼間の距離も側眼間の距離に似て居る。他の形狀は♂と大差ない。

亞成體の♂ (paratype)：成體の♂と大いに異つてゐる點は，頭胸部前方に大なる隆起がなくて寧ろ♀に似て居る事である。

亞成體の♀ (paratype)：觸肢以外に於て亞成體の♂と殆ど差別點がない。

備　考 本種はアカムネグモ *Oedothorax exsiccatus* Boesenberg et Strand, 1906 に似て居るが，次の様な點で明らかに區別される。即ち

1. ♂に於ては前者の頭部は大なる瘤狀突起をなして居り，其の兩側面には凹所があつて前方は切れ込んで居るが，後者の頭部は此の様に大なる隆起をなして居ないし，又切れこみも凹所もない。

2. ♀に於ては後者の生殖門は突出した胃外域の頂上に開口して居り，其の兩側部は圓形に黑色をなして居るが，前者の胃外域は全然突出してゐないし，又黑色圓形の部分がなく，大體の形は出の字狀をなしてゐる。

Oxyptila takashimai sp. nov.

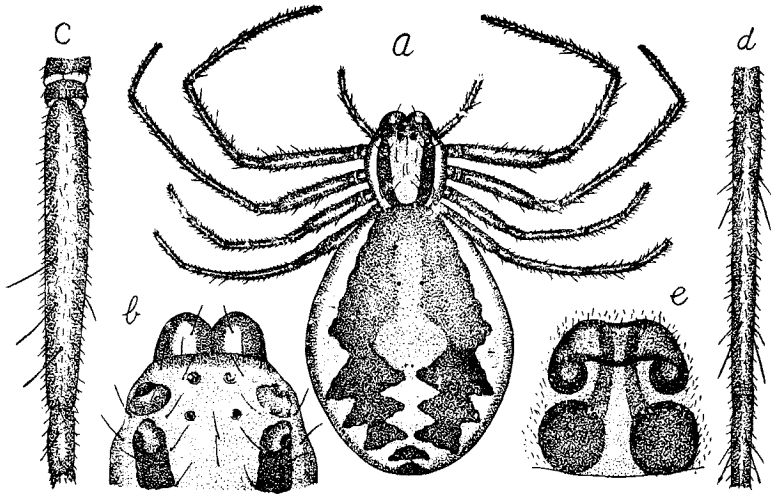
アマギエビスグモ（新稱）

模式標本 holotvpe は1937年5月6日靜岡縣天城山に於て高島春雄氏が採集した成體の♀で，allotype は同年10月11日同氏が同地に於て採集した亞成體の♂であり paratype は同年9月23日同地に於て矢張り同氏に依つて採集された亞成體の♀2頭である。holotype は著者の標本 No. 685, allotype は同 No.686, paratype は同 No. 687 として保存する事にする。種名は發見者に捧げ，和名は採集地を記念したものである。

附圖說明 a. ♀成體（holotype）の背面 b. 同頭部 c. 同第1步脚腿節の背面 d. 同脛節の下面 e. 同胃外域 Plate X. 亞成♂（allotype）の背面

測　定 holotype に於ては體長4 mm. 頭胸部は長さ1. 3 mm. 幅 1. 2 mm. 腹部は長さ 2. 8 mm. 幅2. 6 mm. 步脚第1及第2は5. 1 mm. 第3は3. 2 mm. 第4は3. 5 mm. の長さを有する。他の標本は全部亞成體であるから此所には測定表を略する。

色　彩 成體の♀（holotype）—頭胸部：背甲の左右亞中線上に後方に於て連絡した黑褐色の2縱條があつて，他は淡黃褐色である。單眼は第1間眼（前列側眼）のみ中性で，他は全部夜性，眼丘は灰色である。觸肢及步脚は全部淡黃色で，蹠・跗兩節は稍濃色，特記すべき斑紋を有しない。上顎は黃褐色，下顎及下唇部も殆ど同樣な色彩であるが，後者は下部に於て稍濃色，胸板及基節は淡黃白色である。

腹部：背面の地色は灰黃色で，左右に幅の廣い幣狀の縱の褐色斑紋があり，前方に於ては色彩が淡く，輪廓が明瞭でない。此の斑紋の上部中間に左右相對して小さな斑點が數個宛集合した銀色斑紋があり，又2對の褐色斑點がある。腹部後端には小形な三角形の褐色斑紋が數個連續して蛛疣に達して居り，後方になるに從つて小さい。亦幣狀斑紋の周圍にも銀色斑點が散在して居る。下面の地色は淡黃色，胃外域は褐紅色，胃外溝と蛛疣との間には不明瞭であるが幅の廣い縱の斑紋が2條ある。左右兩側には明瞭な數條の褐色平行線が斜に並んで居る。蛛疣は灰黃色で，周圍は褐色斑紋に取り卷かれ，左右は2對の濃色斑

第2圖　アマギエビスグモ　*Oxyptila takashimai* sp. nov.
(Toshio Uyemura del.)

紋をなして居る。

亞成體の♂ (allotype) 一頭胸部：背甲の斑紋は hototype に較べて色彩は遙かに淡く灰褐色である。又此の2縱斑は後方に於て連絡してゐない。眼の色は holotype と同樣であるが，眼域は褐色に彩られてゐる。觸肢及步脚もはるかに色彩が淡く黃白色で，跗節のみ稍褐色を帶びてゐる。上顎・下顎・下唇部及胸板も步脚と殆ど同樣な色彩である。

腹部：holotype に於ては背面の模樣は前方に於て薄れてゐたが，此の方に於ては不規則に歪んだ明瞭な線狀斑紋に變つて居る事，及其の內部にある銀色斑紋が著しく目立つて居る事等に於て異つて居る。又下面の地色は黃色で中央部より下方に明瞭な幅の廣いU字形の斑紋を持つて居る。紡疣は黃綠色である。

亞成體の♀ (paratype)：holotype との相違點は第1及第2步脚脛節背面の基部と先端に近き部分に褐色斑がある事，腹部背面中央の銀色斑は1對の大き

な1個づゝの斑紋に融合してゐる事，及 allotype に於ては不規則に歪んで線狀をなしてゐた腹背前方の斑紋が，此の方では小さな斑點の連續として切り離されてゐる事等は特記すべき點である。

形　狀　成體の♀ (holotype) —頭胸部：眼は2列共著しく前曲し，側眼は特に大きく，高い臺の上に位置する。前列側眼（第1間眼）は最大で，後列中眼（第2間眼）は最小である。直眼と第1間眼は略等距離に並び，後者の直徑は前者の直徑の約3倍にも達する。中眼域は長さ幅に優り，前邊（直眼間）は後邊（第2間眼間）よりも稍短い。第2間眼と兩側眼との造る區域は正三角形である。上顎の前面に1本，直眼の左右前方に各3本，側眼の周圍に各5本，黑褐色縱斑の後端に近き部分に各3本，及亞中線上に尙數本の剛毛を疎生する又第1步脚腿節の上面には4本，膝節上面には1本，脛節の下面には2對，同背面には4—5本，蹠節下面には3對，同背面には2對の剛毛がある。第2步脚も殆ど同樣，第3・第4步脚及觸肢にも少數の剛毛があるが，並び方は不規則である。步脚の先端には齒のある2本の爪を有する。下唇部は楕圓形で，長さは幅に優る。胸板は心臟形で，幅は長さに稍劣り，前緣は丸く後曲して居る

亞成體の♂ (allotype)：腹部は比較的小形で，背面は毛深く，尙多數の剛毛を粗生する點に於て holotype と大いに異つて居る。

亞成體の♀ (paratype)：成體の♀ (holotype) と較べて特に記すべき相違點を認めない。

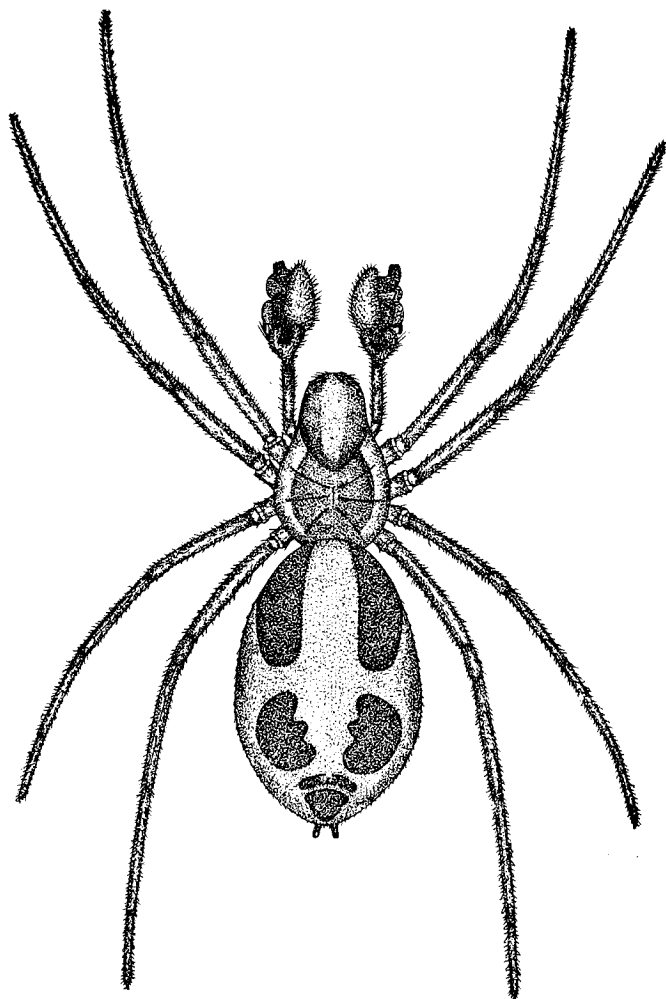
備　考　本種はコカケモノグモ *Oxyptila truciformis* Boesenberg et Strand, 190 に似て居るが，次の樣な點で明らかに區別する事が出來る。即ち

1. 前者の腹背には幣狀の黑色斑紋があるが，後者はかゝる斑紋を有しない
2. 後者の胸板には下顎の下方に各1個の褐色斑紋を有するが，前者の胸板には何等の斑紋がない。
3. 後者は步脚の各節に斑紋を有するが，前者はそれを缺く。

尙此の他身體各部の色彩，胃外域の形狀等に於ても相違が見られる。

Plate 9

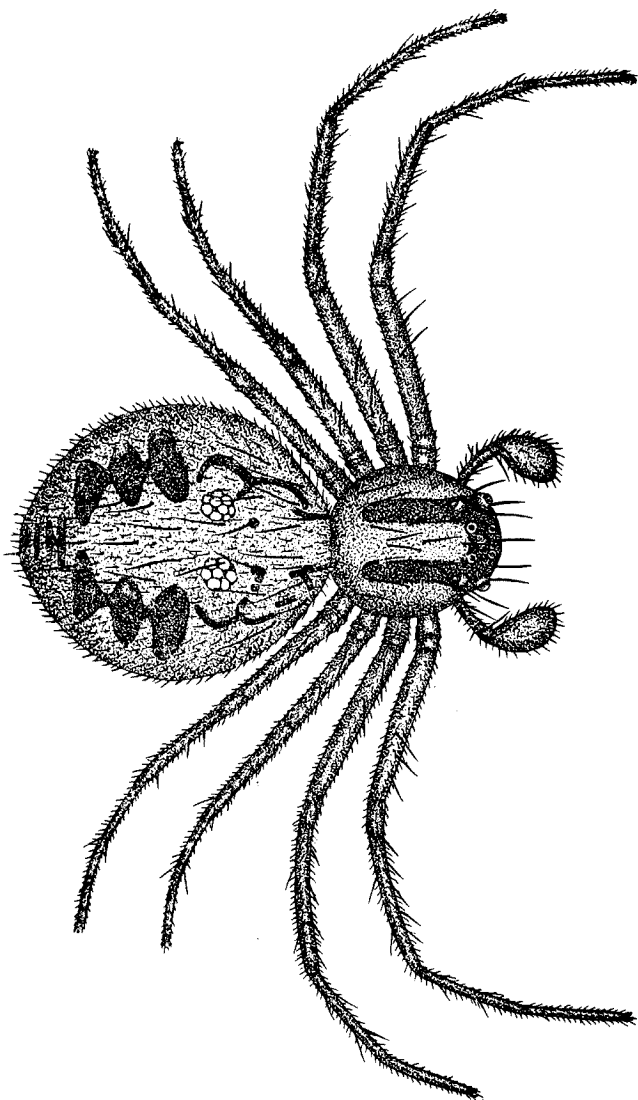
ヨツボシアカムネグモ

〔植村論文附圖〕

Oedothorax quadrimaculatus sp. nov. (adult ♂)

(Toshio Uyemura del.)

Plate 10

アマギエビスグモ

〔植村論文附圖〕

Oxyptila takashimai sp. nov. (subadult ♂) (Toshio Uyemura del.)